

近時の主な逃亡事案

近時の主な逃亡事案

- 懲役刑が確定した者の逃亡（令和元年6月）

第一審の実刑判決（懲役3年8月）に対する控訴を棄却する判決が確定した者が，収容のため来訪した地検職員らに対し，包丁を向けて脅した上で，逃亡した（4日後に身柄拘束）。
- 勾留の執行を停止された被告人の逃亡（令和元年10月）

第一審の実刑判決（懲役1年6月）に対する控訴審の係属中に，医療機関への受診を理由として勾留の執行を停止された被告人が，指定の日時までに出頭せず，逃亡した（4日後に身柄拘束）。
- 保釈を取り消された被告人の逃亡（令和元年10月）

第一審の公判期日への不出頭を繰り返し，保釈を取り消された被告人（累犯前科あり）が，地検に出頭した後収容される前に，庁舎外へ出た上，自動車に乗り込んで逃亡した（2日後に身柄拘束）。
- 保釈を取り消された被告人の逃亡（令和元年11月）

第一審の公判期日への不出頭を繰り返し，保釈を取り消された被告人（懲役刑の執行猶予期間中）が，地検職員により車両で護送される途中，車外へ出て逃亡した（2日後に身柄拘束）。
- 保釈された被告人の国外逃亡（令和元年12月）

第一審の公判前整理手続中に，海外渡航禁止などを条件として保釈された被告人が，同条件に違反し，本邦から不法に出国して逃亡した。